

令和5年度
草津市教育委員会事務
外部評価委員会 会議録

(令和5年11月24日開催)

草津市教育委員会

外部評価委員	委員長	渡邊 暁彦
	委員	藤野 利也
	委員	竹本 則子
事務局出席者	教育長	藤田 雅也
	教育部長	増田 高志
	教育部理事（学校教育担当）	菊池 誠
	教育部副部長（総括）	岸本 久
	教育部副部長（スポーツ担当）	田中 歩
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	二井 治美
	教育部副部長（学校教育担当） 兼 学校教育課長	上原 忠士
	教育総務課長	吉田 克己
	学校給食センター所長	大野 まゆみ
	生涯学習課長	古川 郁子
	スポーツ推進課長	堀井 武彦
	国スポ・障スポ推進室係長	原口 裕之
	歴史文化財課長	中立 輝
	草津宿街道交流館長	岩間 一水
	児童生徒支援課長	北村 将
	学校政策推進課長	尾関 大応
	教育研究所長	木村 弘子
	子ども家庭・若者課長	徳地 智子
	幼児課長	小川 晃
幼児施設課長	原田 美穂	

教育総務課課長補佐

永 田 厚 子

教育総務課主査

高 山 和 也

開会 午後1時30分

事務局

ただいまから、令和5年度草津市教育委員会事務外部評価委員会を開会いたします。お手元の次第に基づき進めさせていただきます。

1「開会」にあたりまして、教育長の藤田より御挨拶を申し上げます。

藤田教育長

こんにちは。教育長の藤田でございます。皆様におかれましては、草津市教育委員会事務外部評価委員に御就任いただき、また本日は大変お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。さてこの教育委員会事務の点検評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律によりまして、効果的な教育行政の推進を図ることと併せまして、市民の皆様への説明責任を果たすことを目的に毎年実施をしております、その結果を報告書として公表することが義務付けられております。また、令和2年3月に策定しております「第3期草津市教育振興基本計画」の進捗状況の確認も兼ねた形で報告書としてまとめさせていただいたところでございます。本日の委員会で皆様からいただきました御意見等につきましては、今後の教育行政のさらなる改善に活用するとともに、来年度に策定を予定しております「第4期草津市教育振興基本計画」にも反映していきたいと考えておりますので、忌憚のない御意見を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。本日は長丁場の会議となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

教育長はこの後、他の公務がございますので退席させていただきます。

次に2「外部評価委員紹介」に移ります。本委員会の委員を事務局から御紹介させていただきます。

滋賀大学教授の、渡邊暁彦様でございます。

公立小学校元校長の、藤野利也様でございます。

公募市民の、竹本則子様でございます。

委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

次に3「委員長選任」に移ります。草津市教育委員会附属機関運営規則の第4条第3項により、委員長は委員の互選により決めていただくことになっておりますが、どのように選任させていただきますか。

藤野委員

事務局に一任させていただいてよろしいでしょうか。

事務局

ただいま、事務局一任というお声をいただきましたが、よろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

事務局

事務局としましては、渡辺委員に委員長をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

委員一同

よろしく願います。

事務局

委員長につきましては、渡辺委員に願います。それではこれより会議の進行を渡辺委員長に願います。渡辺委員長よろしく願います。

渡辺委員長

失礼いたします、渡辺です。ただいま御指名をいただきましたので、僭越ではございますが、委員長職を務めさせていただきます。皆様には円滑な議事の進行に御協力をいただきますよう、切に願います。

それでは、4「報告書(案)の概要について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

事務局

「報告書(案)の概要について」、御説明させていただきます。

お手元に配付させていただきました「報告書(案)の概要について」の資料を御覧ください。

1. 「概要」にございますとおり、この点検および評価については、地方教育行政の運営に関する法律に基づき毎年実施しているものでございます。

2. 「令和5年度の実施方法について」でございます。草津市教育

振興基本計画(第3期)において、9つの基本項目ごとに教育委員会事務局で行った内部評価をもとに、外部評価委員会の評価をいただきます。

3「報告書(案)概要について」でございます。

①達成度評価については、教育振興基本計画における9つの基本項目に対して、成果指標の目標達成度や関連する事業の成果達成度などを鑑み、教育委員会事務局で評価を行っております。

②成果指標の目標達成度について、9つの基本項目に対して、合計18の具体的な目標数値を示した成果指標がございます。下にございます「目標達成度の状況」に表のとおり、成果指標に対して達成度が100%以上となった指標は、18項目のうち6項目、全体の33.3%となりました。これは前年度の29.4%から増加しております。

③主要事業一覧について、9つの基本項目には様々な事業が紐づいておりますが、教育委員会事務局において、全事業から57の主要事業を抽出し、「期待を超える成果であった」「期待どおりの成果であった」「期待未達の成果であった」の3段階で自己評価を行っています。自己評価の結果、57の事業すべてに対して「期待どおりの成果であった」としております。

最後に4でございます。本日、外部評価委員会を開催させていただき、委員の皆様からいただいた御意見を最終の報告書にまとめて、議会への報告および公表を行います。

事務局からは以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。ただいまの説明について何か御意見、御質問はありますでしょうか。

それでは、4「報告書(案)の概要について」を終わります。

つづきまして、5「評価シートの見方と本日の進行について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

「評価シートの見方と本日の進行について」、御説明させていただきます。報告書の11ページを御覧ください。評価シートの見方でございます。委員の皆様方には先にお読みいただいていると思いますので、詳細な説明は省略させていただきますが、上から「事業の

概要」、「成果指標の目標と実績」、「達成度評価」、「主要事業一覧」、「その他の事業一覧」となっております。

「主要事業一覧」の枠内を御覧ください。事業の評価につきましては、◎(二重丸)、○(丸)、△(三角)の3段階で自己評価をしたものでございます。この「主要事業一覧」の成果達成度や、成果指標の目標と実績を鑑み、「達成度評価」を記載しております。

また、本日の進行については、基本項目ごとに事務局より概要を御説明したうえで、委員より御意見を頂戴したいと考えております。会議の時間の都合上、評価・意見をいただく時間は委員1人につき4分を上限と考えております。また、本会議の議事録を作成するために内容を録音させていただきますので、マイクに向かってお話しただきたいと思っております。御協力をお願い致します。

以上、事務局からの説明になります。よろしくお願い致します。

渡邊委員長

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、御質問、御意見等はございますか。それでは、5「評価シートの見方と本日の進行について」を終わります。

続きまして、6「教育委員会事務の点検・評価」に移ります。評価は基本項目ごとに行うとの説明が事務局よりありましたので、それに基づいて進めさせていただきます。

それでは、基本項目1「豊かな心と健やかな体の育成」について評価を行います。事務局より説明をお願いします。

事務局

基本項目1「豊かな心と健やかな体の育成」について、御説明させていただきます。報告書12ページを御覧ください。

概要について、乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へとつながるように、子どもの発達段階や個々の状況に応じて、学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、豊かな情操や自己肯定感などを身につけ、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、たくましく生きるための健やかな体の育成をめざすものです。

成果指標を「「自分によいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合」および「「運動やスポーツをすることは好き」と答えた児童生徒の割合」としております。

「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。

事務局からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

渡邊委員長

それでは、委員の皆様から評価・意見をいただきたいと思えます。まず初めに、竹本委員お願いいたします。

竹本委員

失礼いたします。「就学前教育の充実」に関しまして、事業内容から幼児課、幼児施設課を中心に幼稚園・こども園の運営や支援を行っているものと思えます。幼稚園・こども園での保育・教育に関しては、専門家である先生方が行われておられますので、適正に行われていると評価できるものと思えます。一方で、就学前教育に限らず、その後の小・中学校も含めて、保護者による家庭教育も重要になってくると思えます。いくら園や学校で素晴らしい教育プログラムが行われていても、家庭教育とズレがあつてはもったいなく、園・学校と家庭が同じ方向の教育を行っていくことで、より良い結果になっていくと思えます。保護者は忙しい日々の中で、教育のことを園や学校に任せきりになってしまいがちです。教育に関して同じ方向を見ていないと、園・学校と家庭の間でトラブルに発展してしまうこともあるのではないかと思います。教育は保護者も参加するものと思えますので、園や学校と協力して子どもを成長させましょうという考えを、就学前段階から根付かせていければ、就学後の教育にも良い影響が出てくるのではないかと考えております。保護者へのアプローチというのは、各家庭で様々な状況があり難しい課題ではあると思えますが、こちらの方も御検討いただければと思えます。

次に「インクルーシブ教育の推進」に関しまして、昔に比べて多様性が受け入れられる社会となり、それ自体は大変すばらしいことだと思えます。ただ学校では、数年前に比べると特別支援学級の学級数・児童生徒数も年々増加していると思われる中で、限られた人材や予算での対応に苦慮されているともお聞きしています。特別支援学校への就学相当の児童生徒には、インクルーシブサポーターを付けるなどの取組を進められており、教育委員会としても積極的に支援されておられると思えます。きめ細かい支援を行っていただいておりますが、同時に学校にとっての過度な負担も心配しています。きめ細かい支援を行えば行うほど、先生方の負担も増えてしまうのではと保護者の目線でも感じているところでございます。特別支援学校に行くか、地元の学校に行くかは、各家庭・保護者の教育方針によるところが大きいと思えますが、特別養護学校と地元の小学

校・中学校に通うことによるメリットはそれぞれあると思いますので、そのことを保護者にしっかりとお伝えし、学校生活だけではなく、卒業後の児童生徒の人生を充実したものにできるかという視点でも考えていただければと思います。インクルーシブ教育は児童生徒個々の状態によりケースバイケースのことが多々あると思いますが、児童生徒本人、保護者、学校、教育委員会が協力した取組を続けていただければと思います。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。続きまして、藤野委員より、御意見いただきたいと思います。お願いいたします。

藤野委員

成果指標を見させていただいたところ、小学校6年生で8割を超える児童が、「自分にはよいところがある」と捉えているとのこと。ただ目標値には達成していないという結果が出ておりますが、令和2年度からこの3年間で目標値と実績値の差が縮まってきているという結果がこの表から見てとれると思われました。今後も、現在行っている取組を継続していただくことで、目標値の達成が可能になっていくのではないかと考えております。

中学3年生については7割半程度の生徒が「自分にはよいところがある」と感じています。中学生については3年連続で目標値をクリアしており、中学校現場での取組の成果がここにあらわれていると思っで見させていただきました。

今は人権教育でも、自尊感情を高めることがひとつの大きな柱になっているというのは皆さん御存知だと思っております。そのような意識が学校現場においても随分と浸透しているだろうと思われ、それぞれの先生方がそのような意識を持って子どもたちに関わっていただいている。その成果がここにあらわれてきていると評価させていただいているところです。こうしたことは地道ですが継続していくことが大切だと思いますので、今後も継続した取組を期待させていただきます。

この「自分のよさ」というのは、子どもたちが「自分のよさ」というものをどのように捉えているのかによっても、意識が変わってくると思われ。「これは「よさ」ではない」、「この程度のことを「よさ」と言って良いのだろうか」と子どもたちが思ってしまうと、なかなか成果指標に反映されてこない。最終的には「自分は自分のままで良い」という認識を子どもたちに対して育てていきたいですが、その前段階として、見方

によって「よさ」とはいっぱいある、一見短所と思われるところでも、そうではなくて、これは「よさ」に繋がっているということを、先生方も随分と意識していただき、御指導いただいていると思いますが、改めてお願いしたいと思っております。

次に成果指標②「運動やスポーツをすることは好き」を見させていただいた時に、中学2年生の女子で44.2%、こんなに低いのかと感じてしまいました。この結果を見ていろいろ調べてみましたが、「運動やスポーツをすることが好き」あるいは「どちらかといえば好き」、この2つを合わせると、中学2年生の女子でも77.2%になるという数値が出てきております。小学5年生の男子であれば90%を超えるということですので、基本的に子どもたちは体を動かすことが好きでいるだろうなと思っています。それらの評価が、ここにあげていただいている体力向上プロジェクトや体育学習の創意工夫、そういった部分で培われてきていると思っておりますので、評価させていただきたいと思っております。ひとつ面白かったのが、「運動が好き」という質問と「体育が好き、楽しい」という質問、この2つの回答を比べて見たときに、小学5年生は「体育が好き、楽しい」の方が上回っています。ところが中学生は逆に「運動が好き」の方が結果として高いです。そういったところは、どのような要因となっているのかな、面白いなと思って見させてもらいました。中学生であれば部活動がメインになっているという気もします。そのあたりについては、また何らかの機会に検証していただければと思わせていただきました。

また保育カウンセラーの活用について、定年を迎えられた方をアドバイザー的な位置付けをさせていただき、その方々の専門性を現場に反映させていく取組を学校現場でもしていただいていると思います。おそらく保育の現場でもそういう形を取っていただいていると思いますし、そのような取組の周知を市民に対してもっとしていただけると良いのかなとも思いました。

次にフリースクールについて、最近世間を賑わせているところになりますが、色々な要因・背景があって学校に来にくい状況を見ている子どもたちであっても、その場その場、その時その時に色々な力を身に付けさせてあげたい、そういう思いの中で、教育委員会として様々な支援策を講じていただいていると思います。これぐらいの人数の方がフリースクールを御利用いただいているというデータも見させていただきましたが、できるだけひとりひとりに寄り添い、学校に行きづらいと訴えている子どもたちを支援していただければありがた

いと思っております。以上です。

渡邊委員長

藤野委員、ありがとうございました。

それでは私の方から意見を述べさせていただきます。すでに成果指標や具体的な事業について、委員の皆様より評価・意見をいただいたところです。私の方からは、組織体制について意見差し上げたいと思います。

学校、地域、家庭・保護者、この3者をつなぐ仲介役として、教員・学校の先生方の役割が重要だと思います。先ほども過度な負担云々というお話がございましたが、教育委員会におかれましては、日々様々な課題に向き合っておられる先生方、教職員の声に耳を傾けながら、必要に応じたサポート体制を築いていただきたいというふうに思います。本年4月1日より、こども基本法が施行されております。法律の趣旨を踏まえまして、医療や福祉、そして教育等に関する業務を行う関係部署が相互に連携を図っていけるよう、組織体制そのもののあり方を見直していく、必要があれば積極的に改革を行っていくということが期待されているのではないかと思います。以上、簡単ですが私の方からの評価・意見とさせていただきます。

これで基本項目1について評価を終わらせていただきます

ここで1度休憩を挟ませていただきます。事務局よりお願いします。

事務局

これより10分間の休憩を取らせていただき、事務局職員の入替えをさせていただきます。それでは休憩とさせていただきます。

【休憩】

渡邊委員長

それでは再開させていただきます。

続きまして基本項目2「確かな学力の育成」について評価を行います。事務局より概要の説明をお願いいたします。

事務局

基本項目2「確かな学力の育成」について、御説明させていただきます。報告書16ページを御覧ください。

概要について、自ら学び、考え、行動する力を身に付け、社会を生き抜く学力の育成をめざし、草津市独自の学力向上策に取り組んでおります。また、学校では、各校の学力向上策を踏まえた取組に加え、ICT機器の効果的活用や検定事業、英語教育や読書活動等を推進し、子どもが主体となって、周囲と協働し学びを深める取組を推進します。また、家庭学習習慣の定着や学び方を身に付けるための支援等を通して、新しい時代を生きていくために必要となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るものです。

成果指標を「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合」および「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童生徒の割合」さらに「学校の授業時間以外に普段(平日)1日当たり1時間以上読書をしている」と答えた児童生徒の割合」としております。

「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。

事務局からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは委員の皆様より評価・意見をいただきたいと思っております。藤野委員お願いいたします。

藤野委員

事務局の方から報告書の概要について御説明いただいた中で、全部で18項目あるうちの6項目については目標値に対して100%以上の成果をあらわしているという御説明がございました。この「確かな学力の育成」については、3つの成果指標すべてが達成されており、草津市の教育委員会がこれまで力を入れて取り組まれてきた成果があらわれてきていると思わせていただきました。概要のところにも書いていましたが、ICT機器の活用、それぞれの検定事業、あるいは英語教育での人的な配置、読書活動や学校図書館整備に関わっての人的配置など、きめ細やかに御配慮いただいている中で、こういった成果があらわれていると思っております。予算や人材確保で難しい面も出てくると思われそうですが、努力をいただき継続いただけるとありがたいと思っております。

成果指標①「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合」については、いわゆる「草津型アクティブラーニング」といった

取組を、学校できめ細やかに継続して実践していただいております。子どもたちが友達同士で話し合いをする中で、友達の意見や考えを受け止め、認め、それらを取り入れていき、自分の考えを再構築していく学習活動が展開されていると思わせていただきました。

また、成果指標②「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童生徒の割合」について、中学3年生の子どもたちの伸びはすごいなと思いながら見せていただきました。平成30年から令和4年の間で10数ポイント上がっています。それぞれの学校で子どもたちに、家庭での学習の仕方、課題の出し方を工夫しながら、子どもたちの納得の上で取り組まれてこられた成果が、ここにあらわれていると思っております。

成果指標③では「学校の授業時間以外に普段平日1日あたり1時間以上読書をしている」と答えた児童生徒の割合」をあげていただいております。数字的にはそこまで高いものではないですが、全国平均から見れば、草津市は小学校も中学校も上位にあるという結果になっておりますし、年々、肯定的な回答をする児童生徒が増えてきているという部分も含めると、それぞれの学校で取り組まれている指導の成果があらわれてきていると思っております。ただ、中学生が平日1時間以上読書をする時間がどれだけ確保できるのだろうかと考えてしまいます。部活動を一生懸命して、そこから家に帰って、課題をして、ご飯を食べる。そういった生活リズムの中で1時間を確保するというのは容易ではないことも想像してしまいます。この項目を目標としてあげて良いものなのかというのは、また御検討いただけるといいかなと思います。読書は環境が大事だと思います。隙間の時間を使って、自分が選んだ本を少しずつ読んでいくという取組をされている小学校もあります。そういった取組の中で、子どもたちが読書に親しむ、本を読むことに興味関心を持ってさらに広げようとする。中には授業時間が始まっても読んでいくくらい集中してしまう、そのような子どもたちの良さもあるので、工夫しながら継続して取り組んでいただけるとありがたいと思っております。

ここにあげていただいている主要事業によって、学校での取組が充実していることはたくさんあると思います。そのような取組も継続いただけるとありがたいですし、成果や課題を整理し、学校とも共有して、次年度に繋げていただくと、より充実した取組になっていくだろうと思います。御尽力いただけるとありがたいです。以上です。

渡邊委員長

藤野委員、ありがとうございました。続きまして、竹本委員より御意見いただきたいと思います。お願いいたします。

竹本委員

ICT を活用した教育の推進に関しまして、達成度評価においても ICT 教育に関することが記載されており、草津市として積極的に取り組んできていただいたことが見てとれます。1人1台端末などの整備を行われたことにより、児童生徒が先進的な環境で教育を受けられていることを嬉しく思っています。コロナ禍で子どもたちが学校に行けない状況が続いていた中で、端末があることにより家でも学校の授業が受けられたことは画期的なことでした。保護者の立場としてはありがたいことと思っています。設備の整備以外にも、ICT を活用するための教育研究なども行われているとお聞きしており、忙しい日々の中で学校の先生方にも時間を割いていただいたことは頭が下がる思いです。ICT に限らず、様々な技術革新によって教育現場も変化をしていく必要はあると思いますが、教育委員会や学校に過度な負担がかからないよう、負担を分散化できるように段階を踏んで進めていただくなどの配慮もお願いしたいと思っております。

また、基礎学力向上のための取組の充実に関して、主要事業として「小1学びの基礎育成事業」をあげていただいております。子どもにとって成功体験は非常に大切なものだと思います。小さなことでよいから成功した喜びを感じ、「次に向けてまた頑張ろう」と思えることで、努力していけるものだと思います。一方で、子どもの性格にもよるとは思いますが、小さなことでも何かにつまずいてしまい、やる気をなくして努力をやめてしまう、そんなことも多々あると思います。教育の基礎となる「読む力」でつまずきをしないように取り組む事業は、大変素晴らしいものだと思います。小学校に入学して子ども自身が「勉強ってどういうものだろうか、授業についていけるかな」と期待と不安をいっている中で、勉強の入り口である「読む力」を身につけることができる成功体験は、勉強を好きになるきっかけにもなりますので、引き続き力を入れていただきたいと思います。

多層指導モデル(MIM)のことを事前に質問させていただいており、御回答いただきありがとうございました。こちらの方は主に小学1年生を対象にしているということでした。私の子どもを見ていても、どの段階、学年においても「読む力」、「国語力」というのはすごく大事なものだと思います。先生の負担になるかもしれませんが、このような指導モデルを小学校の低学年だけでなく高学年、中学にあ

がる前まで取り組んでいただければ、大変すばらしい指導方法かと思しますので御検討いただければと思います。以上です。

渡邊委員長

竹本委員ありがとうございます。それでは私の方から御意見差し上げたいと思います。

先ほどもお話にありましたが、「ニュー草津型アクティブラーニング」について、積極的に推進されているとうかがっております。こうした草津型アクティブラーニングの実践や、ICTの効果的活用、またプログラミング教育などについては、長年、草津市で取り組まれてきており、成果を上げておられるということだと思います。その成果は、コロナ禍におけるオンライン授業の円滑な運用などにあらわれているのではないかと思います。今後はそのような取組をベースに、各先生方の実践・取組例などを積極的に外部に発信していくということも必要ではないかと思います。また、児童・生徒への効果の検証や改善につなげていくという視点も重要ではないかと思っております。教育委員会として、実践・取組例の発表機会を提供したり、先生方への研修についても支援をお願いできればと思っております。

また図書館について、電子書籍の普及が進んでおります。一方では、実際に図書館で本を手にとって読むということも、児童生徒にとっては貴重な体験であるのではないかと思います。本棚の前で児童生徒が目輝かせながら、面白い本はないかなと探している姿はすごくいいなと思います。読みたい本を探し、探している中で同じ棚に並んでいる他の本の装丁が気になり、手を伸ばすということもあると思いますし、関連する別の本を調べることも大切だと思います。その関連で、学校司書や図書館運営サポーターを配置する取組は高く評価されるべきだと思います。子どもたちの読書活動のきっかけとなるよう、さらなる充実を期待したいと思っております。私の方からは以上2点ということで、コメントさせていただきました。

それでは、以上をもちまして、基本項目2の評価を終わりたいと思います。

続いて、基本項目3「教職員の指導力の向上」についての点検・評価を行います。事務局より概要説明をお願いいたします。

事務局

基本項目3「教職員の指導力の向上」について、御説明させてい

たきます。報告書18ページを御覧ください。概要について、教職員の研修プログラムや研究活動の充実に取り組み、よりよい授業が行えるよう教職員の指導力の向上をめざすものです。また、そのために必要となる時間の確保と有効な活用ができるよう、教職員の健康管理や働き方改革に取り組み、職場環境の改善もめざしております。成果指標を「「自分なりの課題をもって自己研修に努めている(5段階評価)」の平均値」および「「会議時間の短縮、行事の精選や実施方法の見直し、校務のICT化等を推進し、積極的に業務の改善や効率化に取り組んでいる(5段階評価)」の平均値」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

はい、ありがとうございます。それでは、委員の評価をいただきたいと思います。藤野委員よりお願いできますでしょうか。

藤野委員

はい。教職員の指導力の向上ということで、事前に草津市教育委員会で主催された教職員の研修会、あるいは勉強会の開催数を聞かせていただき、多くの研修機会を提供していただいていると改めて思いました。何とかして自分の力を高めたい、資質を向上させたいという思いを持って、日々過ごされている先生方は非常に多いと思います。その先生方が、こうして提供いただいた機会をうまく利用しながら、自分の力を高めていくことができれば、草津市で教育に関わる仕事をしてよかったなという意識にも繋がっていくと思います。ぜひ継続いただきたいと思います。ICTの新転任者研修は、私が現役の頃にはなかったので提案したいと思っていたのですが、今ではステージ別研修も含めて行っていただいています。初めて草津市に赴任した先生は「草津市はICT機器を活用した教育に一生懸命取り組んで、タブレット使って授業しないといけないがどうしたら良いのか」と不安に思うと思いますが、研修を通して、「草津市のアクティブラーニングの授業はこうやっていけば良い」というモデルを見聞きさせていただく、あるいは「ICTをこうやって活用していけば、子どもたちが興味を持ってくれる」と思えるような研修の機会を作っていただいております、ありがたく思うとともに、安心して草津に異動してこられると思わせていただきました。

次に、成果指標①「自分なりの課題を持って自己研修に努めてい

る」という数値についてですが、コロナ禍でなかなか身動きが取りづらい状況もあり、「こういった研修もさせてあげたいけど、なかなか全員が集まるのは難しい。オンラインでしか出来ない」という状況もあった中で、若干数値が下がっているのかなと思いましたが、ようやく数値も戻ってきている、これから上昇気流に乗っていくのかなと思いつつ見させていただきました。

また、成果指標②「会議時間の短縮、行事の精選や実施方法の見直し、校務のICT化等を推進し、積極的に業務の改善や効率化に取り組んでいる」の数値、いわゆる業務の改善効率化ということで、成果指標として質問の聞き方が、「令和3年度まで」と「令和4年度から」は変わっています。「ワークライフバランスを意識している」というだけの質問から、「会議時間の短縮」や「校務のICT化を推進する」と例があげられている質問になると、なかなか肯定的に評価できない部分もあるのかなと思いますので、ここで数値が下がっているのはある意味、致し方ないかなと思っています。会議の時間の短縮、あるいは校務のICT化というのは、個人の努力だけではなかなかできない部分もありますし、管理職の先生方や教育委員会が連携していただきながら進めていただくことで、働き方の改善に繋がっていただければ良いと思わせていただきました。

また、「スクール・サポート・スタッフの配置」について、家庭学習の準備、宿題やテストの丸付けや分析など、学校での学習支援をしていただいています。担任の先生にとってみれば、この人的配置によって随分と助かっていると思います。御存知のように講師を見つけることが非常に困難で、本来であれば配置されていないといけませんが、いないままやらざるをえないというのが、学校現場の現況となっています。そんな中で、スクール・サポート・スタッフを確保していくことも難しいことがあるかもしれませんが、あらゆる手段を講じて、学校運営をなんとかうまく回していけるようにお願いしたいと思います。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。続きまして竹本委員、お願いいたします。

竹本委員

今回、外部評価委員をさせていただいたことで、先生方が自己研修をこんなにもたくさん行っていただいていることを知り、感謝申し上げます。子どもたちは先生方の専門的知識を授業で聞いてくると、帰宅後に家でもわくわくした気持ちで「先生はこうい

渡邊委員長

うことを知っているんだよ」と教えてくれます。子どもたちの勉学の向上にも繋がりますので、なかなかお時間を取るのも難しいかとは思いますが、このような研修を継続して行っていただけるのは、保護者として大変ありがたいことだと思っております。

また、会議の時間を設けることも、授業終わり後で大変ということはお聞きしております。成果指標②の令和4年度の実績値は目標値に達していませんが、先生方も御苦勞されているところが見えますので、少しずつ改善していただければと思っております。以上です。

ありがとうございました。引き続き私の方から意見を差し上げたいと思います。

内部評価シート等からも、教職員・先生方が自ら、主体的に研修・研究活動に努めておられることがうかがえます。ただ、成果指標①「自分なりの課題をもって自己研修に努めている評価」については、目標値を超えられていないということも事実です。その原因等进行分析するとともに、引き続き、研修体制の充実・改善に努めていただきたいと思っております。

教職員の自己研修につきましては、「教職員側の意識に関わる問題」と、「研修を受けやすい環境の整備」という、2つの側面があると思います。特に後者につきましては、教育委員会として教職員の働き方改革を進めていただくとともに、「一層の研修時間の確保」および「多様な研修プログラムの整備」に努めていただきたいと思っております。先ほども藤野委員の方から、「ステージ別研修」という言葉がありました。先生方が興味のある教科に対して、計画的・段階的に専門性を深めていく、そのような研修プログラムの整備に努めていただきたいと思っております。

また、達成度評価に「教職員の研修については継続した取組が必要」と記載があります。まさにその通りだと思います。草津市として、どのような教職員を育てていくのか。先ほどと関連いたしますが、長期的な視野に立った段階的な研修プログラムの構築が求められるのではないかと思います。

最後に成果指標②「会議時間の短縮、行事の精選や実施方法の見直し、校務のICT化等を推進し、積極的に業務の改善や効率化に取り組んでいる」の数値についてですが、実績値は令和4年が「3.4」ということで、前年度と比べて低くなっております。先ほど御

指摘いただきましたが、質問内容の変更によるものとも考えられますが、業務の改善および効率化がうまく進んでいない部分もあるのかもしれないかもしれません。その点について、例えば、取組が進んでいる学校の工夫や改善策などを紹介するといった、学校間の情報共有にも努めていただければと思います。以上3点、御意見差し上げます。

それでは基本項目3の評価をこれで終わらせていただきます。

続きまして、基本項目4「学校経営の充実」についての評価を行いたいと思います。事務局より概要の説明をお願いいたします。

事務局

基本項目4「学校経営の充実」について、御説明させていただきます。報告書20ページを御覧ください。概要について、特色ある教育課程の実施や、地域の活力を生かした取組を推進することで、学校経営の充実をめざしております。また、様々な教育課題に対応していくために、教職員の指導体制や学校を支援する体制の充実を図るものです。成果指標を「学校不適応や不登校などの教育課題について、関係機関とも連携を図りながら学校組織として取り組んでいる(5段階評価)」の平均値」および「コミュニティ・スクールくさつ」の推進を通して学校運営の充実を図るとともに、「スクール ESD くさつ」プロジェクトや地域協働合校の理念を踏まえた取組を行い、保護者や地域住民への積極的な情報発信ができている(5段階評価)」の平均値」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは、委員より評価・意見をいただきたいと思います。藤野委員、お願いいたします。

藤野委員

「学校経営の充実」についての成果指標ですが、①、②ともにこの令和4年度から内容が変更されていると書いていただいています。これまで成果指標①では「学校目標に向かって教職員一人ひとりが実践を進め、組織として機能している」と書かれていましたが、この令和4年度からは「学校不適応や不登校などの教育課題について、関係機関とも連携を図りながら学校組織として取り組んでいる」と書いていただいております。今の学校でも大きな教育課題のひとつ

つとして「学校不適應の問題」、「不登校児童生徒の対応の問題」等が大きくクローズアップされてきており、学校は個々の担任の力だけではなく、組織として動いていかないとなかなか解決は難しい。あるいは、学校だけではなく、様々な関係機関と連携を図りながら取り組んでいかないと、なかなか成果が見られないということです。実績値を見ると、学校の先生方や地域の方々が、組織として対応していると認識していただいているのだなと思います。各学校の事情がある中で、学校不適應や不登校の問題を、少しでも何とかしていこうという努力していただいている姿は、私も聞いたり、実際に見てきたという経験がございます。それらをサポートしていただいているのが教育委員会だと思いますので、学校現場とさらに連携を取っていただきながら、これらの課題解決に向けて御尽力いただけるとありがたいと思っています。

それから、成果指標②「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して」ですが、これも令和3年までは「積極的に情報発信ができていく」という内容でした。保護者や地域住民への情報発信のあり方にどのようなものがあるのだろうと考えたときに、学校のホームページや学校だより、学校参観時に学校の掲示物等で見ていただいたり、あるいは管理職や担任の先生から、今の状況や行っていることを直接伝えるなどの方法でやっているのかなと思っています。成果指標②の目標値は4.5以上になっていますが、ほぼ5でないと到達できない高い数値となっています。令和4年度で成果指標の内容が変わり、「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図る」、あるいは「スクールESDくさつ」プロジェクトや地域協働合校の理念を踏まえた取組を行い、積極的に情報発信をする」ということを考えたときに、この目標値は高すぎて、ここへ到達するためにはかなりの努力が必要だなと思います。来年は計画の見直しをされるというお話でしたが、このことは御検討いただければと思います。いずれにしても成果指標①にしても②にしても、4以上の数値が付いているということは、外から見ると十分に達成できていると思える内容だと思っていますので、さらに取組を続けていただけるとありがたいです。

また、私の現役時代もそうでしたが、学校のホームページは誰が更新しているのか、どの時間を使って更新作業をしているのか、更新した内容はどのように検証しているのか、ということ考えたときに、担当にはかなりの負担がかかります。私が学校長の時は、

私自身が作業を行っていましたが、それを担任の先生方で行うとなった時に、その負担は大きいなということを感じてしまいます。情報発信をしていくことは大事ですし、ホームページではリアルタイムでの更新が必要ということもあります。どうしていけば上手く学校の中で、情報発信が進めていくことができるのだろうかということも、考えていく必要があるかなとも思います。各学校によって事情は変わってくると思いますが、人材や時間の確保、どのような工夫ができるのかということも、情報収集を含めて御検討いただけるとありがたいなと思っています。

組織対応という部分については、中学校では随分以前から生徒指導の課題などに、組織として対応していかないと、うまく機能していかないこともあり、御尽力いただいて取り組まれています。小学校もそのノウハウを学びながら、組織対応をしていかないといけないという雰囲気になってきていると思いますので、小学校でもスムーズに組織対応が進められるように、お力をお貸しいただけるとありがたいと思っています。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。続きまして竹本委員、お願いいたします。

竹本委員

「スクール ESD くさつ推進事業」については、事前に事業内容をお聞きしておりました。児童生徒にとって授業は基本的には受動的なものだと思いますが、児童生徒が自分で地域の課題を見つけるといふ能動的であることが、すごく良いことだと思いました。また、自分たちで課題を見つけて、対応方法・解決策を考えるということは、社会に出ても必要なことだと思しますので、小中学校の教育の中で自然に身に付けられるということは非常に必要なことだと感じました。この授業を通して、草津市に対するふるさと意識や地域愛に繋がっていけばなと思っています。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは、私の方からも意見を差し上げたいと思います。

「スクールESDくさつプロジェクト」の事業内容については、私も事前に、このプロジェクトが具体的にどのようなものかおたずねしました。私自身の勉強不足ということもございますが、言葉ひとつを見ても、なかなか理解しづらい部分もあるように思います。成果指標②はもしかすると、そうした制度の理解不足によって、評価を下げられ

ている部分もあるのかもしれませんが。ネーミングは非常に大事だということに改めて痛感した次第です。

今申しあげました「スクールESDくさつプロジェクト」に見られますように、子どもたちが地域課題について体験的に学び、その解決に主体的に関わっていくことは、地域社会のメンバーとしての意識や行動力を身に付けるということで大変有意義なことだと思います。私も実際にホームページの方を拝見させていただき、このような取組を先生や地域の皆さんが一生懸命に行っているということを感じていただきました。

校長先生自らホームページを更新されるなど、情報発信において御苦労はあると思いますが、ホームページで写真付きで活動の様子を手軽に見ることができることは、非常に有意義だと思います。令和6年度からは、市内全ての小・中学校で実施される予定とお聞きしております。大いに期待をしております。

また、先ほどの項目でも少し言及されていたところですが、「スクール・サポート・スタッフ配置事業」などに関して、教職員に対する業務支援の取組については、昨今指摘されております教職員の長時間労働の改善に繋がる側面もあるかと思っておりますので、さらなる推進に努めていただきたいと思います。ただし、教職員とスタッフとの間で齟齬が生じる状況もあるのかもしれませんが。児童生徒に対する具体的な支援策をめぐって、意見が食い違う場合もあるかもしれません。そうすると、相談や打ち合わせなど、かえって時間を取られることとなります。行政の責任として、適正な人材の確保を行うとともに、教職員とスタッフが効果的に連携できるように指導・支援に努めていただければと思っております。

それでは基本項目4を終わらせていただきたいと思います。

続きまして、基本項目5「教育環境の充実」について評価を行います。事務局より概要の説明をお願いいたします。

事務局

基本項目5「教育環境の充実」について、御説明させていただきます。報告書24ページを御覧ください。概要について、安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実をめざすものです。成

果指標を「非構造部材の耐震化工事実施校の割合」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。委員の方より評価・意見をいただきたいと思っております。藤野委員、よろしく願いいたします。

藤野委員

「非構造部材の耐震化工事実施校の割合」を成果指標に上げていただいています。最初にこれを見たときには、7割しか耐震化できていないという誤った認識を持ってしまいました。自分なりに調べましたが、文部科学省でそれを公表しているデータがありました。そのデータによりますと、草津市では例えば天井や照明、バスケットゴールのすべての落下防止対策は100%完了しており、それ以外の部材部分については7割という実績であることがわかりました。事前にお聞きしている中で、当初は1年で1校ずつやっていくという方針だったそうですが、学校の運営、教育活動にできるだけ支障が出ないように、2年に1校ずつ実施をしていく方針に変えられたということで、このような実績値になっていることを改めて知り、認識を持たせていただいたところでは。

中学校のトイレの改修や小学校のグラウンドの水はけが悪いと雑草だらけになってしまう。そういったことを改善するために、工事を進めていただくことで、本当にありがたいなというふうに思っています。成果指標については、今後100%の実績に向けて取り組んでいかれると思いますが、昨今のニュースで万博の工事予算額がとんでもなく天井あがりしていることを聞いたときに、これまでと同じ予算額では難しいことは容易に想像ができます。そのような中でも、子どもたちだけではなく、災害等の避難場所になることも考えると、安全安心な学校施設は必要なことであると思っておりますので、予算の確保や工事の実施に向けて、御尽力いただくことになろうと思っておりますが、どうぞよろしくお願いをいたします。

また、校務情報化推進事業の中で、校務用コンピュータの維持管理やシステム運用については、より使いやすいものに変えていくことで、御尽力をいただいていると思っております。校務用コンピュータを使う教職員側からすると、使いやすさが一番大事で、複雑なものは困るなど多くの先生方思っていると思っております。色々と調査研究もしながら

進めていただけたと思いますが、御配慮いただけるようよろしくお願いいたします。

例えば、大規模改修時や、校務支援ソフトが変わる時については、情報発信をしていただいていると思いますが、市民の方々に対して、教育委員会が力を入れていること、一生懸命やっていることは是非お知らせしていただきたいです。教育委員会が子どもたちのために色々頑張っていることが伝わってほしいと思っています。情報発信はこれまでもしていただいています、「草津市は教育熱心な良いところだ」とこれまで以上に思っただけのよう、お願いいたします。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。続きまして、竹本委員をお願いします。

竹本委員

教育委員会の皆様方が小中学校の施設の改造事業などに、日々御尽力いただきありがとうございます。現在、志津小学校で新校舎を建設していただいております。保護者として、とても楽しみにしております。工事で駐車場が使えないということで、なかなか御理解いただけない保護者の方もおられ、苦情が入っているかもしれませんが、子どもたちの教育環境の充実が図られるということで、私としてはとても楽しみにしております。引き続き御尽力いただきたいと思います。

個人的な話になりますが、私の子どもが野球をやっており、スポーツ少年団やクラブチームで各小中学校の施設に行かせていただくことがございます。今はトイレが洋式になっており、昔に比べれば随分と綺麗になっております。皆様の御尽力で教育環境の充実が図られていることを実感しているところでございます。改めて感謝申し上げます。私の方からは以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。それでは、私からも意見を申し上げます。

改めて申し上げる必要はないと思いますが、児童生徒が安全かつ安心して学校で学べるということが何より大事なことだと思います。そのために、必要な学校関連施設の整備に引き続き取り組んでいただきたいと思います。学校の校舎や運動場等の大規模な施設改修については、先ほど御説明のあったように、計画的に進められていることですので、今後も引き続き予算の確保と必要な施設改修、可能であれば早期実施に努めていただくことをお願いしたいと

思います。加えて2点、意見を差し上げます。

1点目は安全な教育環境の整備に関しまして、各学校で先生方が定期的に施設点検などを行っておられると思います。草津市でということではございませんが、学校事故に関するニュース・報道を色々と耳にいたします。行政から定期的な点検を呼びかけていただくということに加えて、各学校の点検項目・マニュアルが現状に見合ったものかについての確認、項目の見直し等も含めて御指導いただけると良いと思います。何年も前の点検マニュアルを使用していて、新たな設備・施設に関するものが漏れていたということもあるようです。それぞれの学校、それから地域の実情に合わせた点検マニュアルが必要ではないかと思います。

2点目ですが、校務支援システムについてです。校務支援システムを通して校務の効率化を図っておられるということで、こちらも教職員の長時間労働の軽減に繋がるものと評価できます。ただ、扱う内容には、児童生徒、親・保護者の個人情報に関わるものもあるかもしれません。個人情報保護の徹底の啓発等も重要なことではないかと思っております。私の方からは以上でございます。

以上で基本項目5の評価を終わらせていただきます。

続きまして、基本項目6について評価を行いたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

事務局

基本項目6「家庭・地域での学びの充実」について、御説明させていただきます。報告書26ページを御覧ください。概要について、子どもを育てる基礎となる家庭での教育について、保護者に対する情報提供や学習機会を充実させるなどの取組を進めます。また、地域協働合校の推進などにより、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、大人にとってもやりがいのある交流の機会となるようにするものです。成果指標を「地域協働合校の推進に満足している市民の割合」および「家の人と学校の出来事について話をする」と答えた児童生徒の割合」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。委員の方より評価・意見をいただきたいと思

います。竹本委員お願いいたします。

竹本委員

概要にも「子どもを育てる基礎となる家庭での教育」と記載されております。基本項目1でも述べさせていただきましたが、「家庭教育」と「学校教育」の両輪がうまく機能することが、子どもにとってより良い教育に繋がっていくものと思っています。

成果指標の「地域協働合校の推進への満足度」では、令和元年度をピークに減少し、令和4年度に少し回復したかなという状況であります。減少の理由はコロナ禍による実施の制限などが考えられるとのことでしたが、今はコロナ禍以前の生活に戻りつつあり、今後は満足度も上昇すると思います。ただ、コロナ禍により、人と人との接触が制限されていたことで、地域や社会での繋がりが希薄になっていることも否めません。令和6年度の目標値達成は難しいかもしれませんが、次の教育振興基本計画も見据えていただき、地域や社会の結びつきを強められる取組をお願いしたいと思います。核家族化が進んだ現代では、地域や社会とのつながりは面倒くさいと思うことも多々あると思いますが、つながりをどのように子どもや家庭に還元していけるかをわかってもらえれば、協力してくれる、満足してくれる人や家庭も増えてくると思います。

また基礎学力向上のための取組の充実に関してですが、家庭教育に関する講座などを企画していただき、一定の参加者もおられますが、参加人数みると少ないようにも感じます。繰り返しになりますが「家庭教育」は子どもの教育の基盤であり、学校教育がいくら素晴らしいことを行っても、家庭教育をないがしろにしては効果が低くなってしまうと思います。保護者側が子どもの教育を学校に任せがちになっているようにも感じていますので、保護者へのアプローチには課題も多くあると思いますが、根気強く継続していただき、「家庭学習」の必要性や方法を発信していただきたいと思います。こちらの方も引き続きよろしくお願ひしたいと思います。私の方からは以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。引き続き、藤野委員より御意見いただきたいと思っています。

藤野委員

家庭地域での学びの充実ということで、概要や成果指標でも地域協働合校のことがあがっています。この地域協働合校事業が草津

市でスタートしたころ、私も草津市におりました。スタート当初、地域の方は「地域協働合校」の字を見て「合校」の字が間違っている。「学校」でしょという認識でした。そんな状態から、色々な取組を進めていく中で、これは大事な取組だという意識が、市民・地域の方、保護者の方に浸透していった結果、今も事業が進められていると思わせていただいています。事業のための予算も確保していただき、子どもたちはもちろん、地域の方、保護者の方にとっても、大切な事業という認識を改めて持っていきたいなと思います。そういう思いを持ってもらうための周知の仕方についても、お考えいただけるとありがたいと思っています。目標値・実績値は20%程度で推移しているので、決して高い数値ではないように見えます。市民の方への意識調査となっていますので、市民への浸透の仕方というのが見てとれると思います。子どもたちが学校に在籍をしている保護者として関わっている間は身近なものと思っただけの工夫ができると思いますが、そうでない方々にとってみれば「地域協働合校事業」とは何をしているのか伝わっていないと思われそうです。今あなたが取り組んでいる、参加している事業は地域協働合校事業です、とはっきり明示できる形でお伝えできれば、この意識も浸透していくのかなと思わせていただきました。子どもたちにとってみれば、地域の方や自分たちの学校を卒業した先輩から、色々な話を聞きながら、一緒に活動したり、新たな活動を考えたりすることは、力になる学習活動だと思います。また、そこに講師として来ていただいた大人の方にとっても、子どもたちからこんな感想をもらえた、子どもたちにこんな力を付けてもらうように頑張った、ということでやりがいや生きがいに繋がる部分もあるというふうに思います。是非引き続き、実施できるように御尽力いただければと思っています。

「家の人と学校の出来事について話をする」と答えた児童生徒の割合」が成果指標②になっています。今回、外部評価委員に委嘱されて、教育振興基本計画を読ませていただきました。計画の30ページに全国学力・学習状況調査の結果にて同じような成果指標を設けておられました。平成30年度は小学校6年生で56%、中学3年生で42.5%が肯定的な回答でした。データの出所が違いますので、そのまま比較はできませんが、令和4年度は小学生で80%、中学生でも75.6%が、家で学校の出来事を話しているという事はすごいことだなと思います。先ほども家庭教育についての御意見がありましたが、家庭で学校での出来事が話題になって

いることは、家庭教育の大きなきっかけになると思います。もっと家庭で話ができる子どもたちを増やしていけたらと思います。ただ、ここにあってこない、小学生であれば20%、中学生であれば25%の子どもたちは、家で学校の出来事を話すことができていないと答えています。その要因は何なのかと考えることも大事なことだと思います。それが子どもと保護者の関係の中で生まれているものなのか、分析していくのも難しいですが、もしどういった関わり方を学校が行ったとしても、子どもたちが保護者と学校の出来事の話ができないという状況があるのであれば、その子どもたちが学校のことを話すことができる環境づくりを考えていく必要があるのではないかと思います。自分の考えを、自分のことを話すことができる、そのような場をどこかで作り出してあげたいと、このデータを見て思わせていただきました。

また、少年センター等の取組について、子どもたちへの支援に御尽力いただいています。20歳を過ぎた人たちへの支援を今後どうしていくかということが大事と聞いたこともありますので、そのことについても御検討いただけるといいのかなと思って見させていただきました。

最後にですが、スクールガード事業について、特に小学校にとっては本当にありがたい事業です。地域の方が地元の集合場所から学校まで、子どもたちの登校についてきてくださっています。登校中に怪我をした子どもをおんぶして連れてきてくださり、手当てをやってほしいと声掛けをいただいたこともありました。本当に大事にしたい事業だと思っています。事業に参加していただいている方々の高齢化の問題もあると思います。人材を確保するためにはどうしたらいいのか、学校や地域と教育委員会が一緒になってお考えいただければと思っています。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。最後に私の方から意見を申し上げます。

成果指標①、②について、それぞれ「市民意識調査」と「学びのアンケート調査」に基づきまとめられています。数値をみるかぎり、「地域協働合校」という言葉は、市民の方々にとっては馴染みがなく、わかりづらい、実感しづらいところがあるのかなと思いました。私も草津市民ですので、最初にこの言葉を見た時に、それがどういう活動なのかイメージしづらかったです。そういうところが数値に反映されているかもしれないと思いました。

成果指標②の「学びのアンケート調査」に関しましては、どのよう

に調査を行っておられるかにもよりますが、児童生徒の側からすると、「話をしないというもおかしいので、する方に回答しておこう」となりがちなのではないでしょうか。そういうことも考えられますので、数値に一喜一憂する必要ない、とまでいうと語弊がありますが、あくまで参考程度の捉え方でよいように思いました。

スクールガードのことについて、先ほども委員の方から御意見ございましたが、ボランティアの方々の取組に関しましては、本当に頭が下がる思いでございます。担い手を確保することは、いずれの市町村でも課題になっていると伺います。草津市におかれましても、引き続き地域住民の方々の協力を得られるよう、適切な働きかけを行っていただきたいと思えます。子どもたちにとっては、先生でもなく、保護者でもなく、地域の方々が自分たちのことを見守ってくれているということで、大変勇気づけられるのではないのでしょうか。登下校中に立ちどまって、子どもたちがふざけているところを、「早く行こう」とスクールガードの方が声かけされている姿も見られます。こういった活動が維持できるよう、支援をお願いしたいと思います。

また、青少年の健全育成に関する事業についてございますが、青少年自らがそうした活動それ自体を計画することがあっていいのではないかと思います。自分たちが計画し、実施する。一つのことをやり遂げることは達成感につながると思えますので、計画段階から青少年の参加を念頭に置いていただけると良いのではないかと考えました。

最後に、草津市にも、ハンディキャップのある方、外国にルーツを持つ方など、様々な方がおられます。その方々が、市の事業について計画段階から関わっていただけるような仕組みがあるといいのかなと思いました。私の方からは以上です。

これで基本項目6についての評価を終わらせていただきたいと思えます。

なかなか全ての事業について、どのような取組をされているのか確認し、意見申し上げることが難しいところです。逆に教育委員会として、「こんな点に力を入れて取り組んでいる」「これはアピールできる」といったことなど、少しお話いただくと大変参考になりますがいかがでしょうか。

菊池理事

理事の菊池でございます。先ほど藤野委員から、学校のホームページのことについて、掲載するまでに多大な時間を要することを、実際に校長時代にその作業していただいていた経験をもとにお話をさせていただきました。そのことを改善するために、この9月からホームページのシステムが変わりました。今まで「ホームページビルダー」というシステムを使用しておりましたが、「CMS」というシステムに変更したことで、作業時間は3分の1以下になり、ブログやラインのような感覚で、文字を書いて写真を貼れば掲載できるものになりました。学校のホームページをまた見ていただければわかりますが、情報量もすごく多くなっています。簡単に更新ができるということで、多くの人がホームページ作成に関わる体制作りも行っています。先日、小学校から修学旅行の様子を1日に4回ほど掲載しましたところ、その日は2000人を超える閲覧者がありました。そのように気軽に簡単に情報を提供できるシステムに変えております。

また、「sigfy(シグフィー)」というアプリを使い、学校からのメールを受信できるようにしています。そのアプリを使うことによって、今までではできなかったPDFデータの添付を行うことができ、「sigfy(シグフィー)」から「学校ホームページへ学校だよりを掲載しましたので御覧ください」といって案内もでき、学校ホームページへ誘導して見ていただく仕掛け作りも行っています。また、欠席・早退・遅刻等の連絡を「sigfy(シグフィー)」で行うことができ、朝の電話対応もなくなり、教職員の働き方改革の一助にもなっていると思います。

藤野委員

その連絡はスマホから行えるのですか。

菊池理事

スマホから行えます。

藤野委員

学校からの評判はいかがでしょうか。

菊池理事

高い評価をいただいています。学校からのお便りについては、ほとんど sigfy を使って送付し、保護者に直接確認していただいております。印刷物の削減、ペーパーレス化にも繋がっています。

竹本委員

紙だと子どものランドセルから探さないといけないこともありましたので、保護者のもとに直接届き、気が付いたときに確認ができることは非常にありがたいです。また、学校の欠席連絡も、sigfy 導入以降

	は電話することが一切なくなりました。学校の電話代がすごいことになっていることもお聞きしております。折り返しの電話も必要なくなりますので、保護者としても積極的に使っていただけらなと思っております。
藤野委員	保護者のsigfyの登録状況はどうですか。
菊池理事	100%に近づいてきています。
尾関学校政策推進課長	未登録者なしという学校が5校、一番登録者の少ない学校で90%台です。11月1日現在で各学校の平均登録率は98%以上です。
藤野委員	未登録の方については、従来通りの文書の配布をされているのでしょうか。
菊池理事	未登録の方の数はかなり少ないですので、個別に連絡等はさせていただいております。併せて、登録のお願いは継続して行っております。
渡邊委員長	提供される学校便りなどのデータは、外国語表記に対応できる機能はあるのでしょうか。
尾関学校政策推進課長	ホームページについては8カ国語、sigfyについては12カ国語で対応しています。
渡邊委員長	システムを活用して、先生方の負担を軽減されているということですし、保護者の方にとっても大変利用しやすいということです。そのようなシステムを活用していただくとともに、sigfy未登録の方への丁寧な対応も引き続きお願いします。
	ここで休憩を挟ませていただきたいと思います、事務局よりお願いいたします。
事務局	これより10分間の休憩を取らせていただき、事務局職員の入れ替えをさせていただきます。それでは休憩とさせていただきます。

【休憩】

渡邊委員長

それでは再開させていただきます。

基本項目7「生涯学習・スポーツ充実」についての評価を行います。事務局より説明をお願いいたします。

事務局

基本項目7「生涯学習・スポーツ充実」について、御説明させていただきます。報告書28ページを御覧ください。概要について、誰もが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学び、子どもの教育や地域の活動において、成果を生かすことができるような生涯学習機会の充実を図ります。また、スポーツを身近に感じ、楽しめるよう生涯スポーツや競技スポーツに関する取組の充実をめざすとともに、第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を推進するものです。成果指標を「生涯学習・スポーツの充実に満足している市民の割合」および「図書館利用者の満足度」さらに「社会体育施設利用者の満足度」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。

それでは委員の方より評価・意見をいただきたいと思います。竹本委員、お願いいたします。

竹本委員

成果指標の図書館利用者や社会体育施設利用者の満足度を見ると高い水準で推移しており、積極的に活動している市民からは評価いただいていると思います。一方で、市民意識調査での「生涯学習・スポーツの充実の満足度」は減少傾向にあり、コロナ禍の影響によるところもあるかと思えます。推測にはなりますが、まだ具体的には活動していないが、これから何か始めたいと考えておられる方に対しての取組を積極的に行っていくことで、「生涯学習・スポーツの充実」の満足度は増加するのではないかと考えております。

私は草津市の観光に携わっております。「国スポ・障スポ大会の推進」に関して、滋賀県や草津市を全国の人に知っていただく絶好の機会だと感じております。メインはスポーツではありますが、競技

を終えた選手や関係者が帰る前に観光することも考えられます。また、応援に来られた家族がついでに観光しようかとなることも考えられます。大会の成功に向けて、実行委員会の運営や啓発活動が計画的に進められていることと思いますが、こういうことも考えていただければありがたいです。草津市での大会の成功をお祈りしております。

成果指標②「図書館利用者の満足度」についてですが、個人的に週に1回は図書館に行って、子どもたちと本を借りております。図書館に行くと、利用者がたくさん来られている光景を見ておりますので、実績値の高さについては納得しているところです。以上となります。

渡邊委員長

ありがとうございます。続きまして、藤野委員より評価・意見を頂戴できますでしょうか。

藤野委員

基本項目に含まれる主要事業一覧で、「図書館運営事業」、「南草津図書館事業」の中で、「11月3日の図書館まつりにおいてビブリオバトル、絵本のひろば等の特別企画を行った結果、利用促進につなげることができた」ということが書かれております。ビブリオバトルについては、小・中学校の方でも力を入れて、それぞれで取り組んでいただいているところです。校内でのビブリオバトルや、草津市実施のビブリオバトル大会に参加することなども続いていると思います。この取組については、読書に興味を持つという観点でもすごく効果のある取組だと思えます。どのように話をしていけば聞いてもらえるのか、自分が話したことを理解してもらえるのか、より聞きたいという思いになってもらえるのかなど、コミュニケーションに関わる部分での工夫、そういった力を子どもたちが身に付けていくうえでも、効果のある取組だと思っています。ビブリオバトルは始まってそれほど間もない事業ですが、小学生中学生だけではなく、大学生のビブリオバトルの全国大会が開かれているということもお聞きしていますので、ぜひ継続していただきたいです。今回は南草津図書館の開館20周年記念事業としての特別企画ということですが、ビブリオバトルについては、ぜひ継続した取組を広げていっていただけるとありがたいなと思わせていただきました。

また、「社会教育推進事業」の中で「立命館びわこ講座」という記載があり、どのような講座が開かれているのかと思って調べてみまし

た。色々なテーマがありました。第一印象は難しいテーマかなという思いを持ちました。実際に大学の先生方のお話を聞いてみると、それほど難しい内容ではないのかもしれませんが、テーマとして挙がっている内容や言葉が少し高度かなと感じてしまいました。市民の方はテーマを見て「参加してみたい」、「聞いてみたい」という気持ちにはたしてなるのか、少し心配をしました。大学の先生の講座としては反対方向になるのかもしれませんが、平易な言葉を使うことで、より多くの市民の方々に聞いてみたいと思ってもらえるようなテーマ設定ができるといいのかなと思いました。以上です。

渡邊委員長

はい、ありがとうございます。それでは、私の方からも評価・意見を差し上げたいと思います。

生涯学習・スポーツの充実のために、市の施設の適切な維持管理に努めていただいております。その際、例えば施設の貸し出しなどの場面で、特定のサークルやグループ、あるいは特定の競技団体への優先的利用や過剰支援はないか、適宜、公平性の観点から検証を行っていただきたいと思います。

また、公共施設や公園の利用などについてですが、利用マナーの低下が指摘されています。地域によっては、騒音などの苦情もあると伺っています。行政として、改めて利用ルールを再検証していただき、必要があればルールの見直しや利用者へのルール徹底など、誰もが利用しやすい施設環境を整えていただくようお願いいたします。

最後に、図書館利用についてです。滋賀県は全国的にも図書の貸出冊数が多い、図書館の利用率が高いことはこれまで言われてきたところです。そのことは図書館利用者の満足度の高さにあらわれていると思います。引き続き、より多くの図書収集や保存、並びにレファレンスサービスの充実に努めていただければと思っております。すでに実施されていることと思いますが、図書の読み聞かせ、講演会の実施など、実際に市民の方々が集まって、互いに交流できる機会も、意識的に増やしていただければと思っております。以上です。

以上をもちまして、基本項目7の評価を終わります。

続きまして基本項目8「文化・芸術の振興」についての点検・評価を行います。事務局より概要の説明をお願いします。

事務局

基本項目8「文化・芸術の振興」について、御説明させていただきます。報告書32ページを御覧ください。概要について、文化・芸術活動の支援と各種事業の充実や、担い手の育成支援を通して、誰もが文化に触れることができる機会の充実をめざします。また、文化の力によって都市の魅力を高めることをめざすものです。成果指標を「文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

はい、ありがとうございます。それでは、委員の方より評価・意見をいただきたいと思います。竹本委員、お願いいたします。

竹本委員

成果指標の市民満足度が前年度より増加しており、その要因のひとつはイベント関係事業をコロナ前の制限のない形での開催ができつつあることかなと感じています。

また、文化・芸術に触れる機会の充実に関しまして、計画には「産学公民の連携」と記載されており、「市民文化芸術活動支援事業」の達成度評価にも「産官民の協働の取組ができた」とも記載されております。文化・芸術に触れる機会は多いに越したことはありませんが、行政が提供できる量にも限度はあると思います。既に行われているのかもしれませんが、産学民などの行政以外から発信される文化・芸術イベントを活用する、文化芸術活動の主体を行政から他の団体に移していくことも考えていただけると幸いです。

さらに、文化拠点施設の整備・充実に関しまして、アミカホール、クレアホールと大きな文化施設が草津市にはありますが、そこで行われる催しが多ければ、市民が文化・芸術に触れる機会も増えてくると思います。近隣市町にも文化ホールはありますが、草津市のこのホールで開催したいと思っただけのよう、今後より一層の取組をお願いしたいと思います。以上になります。

渡邊委員長

ありがとうございます。続きまして、藤野委員お願いいたします。

藤野委員

成果指標①における令和4年度の実績値については、これまでと比較すると上昇率が上がっているように思います。昨年度までの課

題等を踏まえた新たな取組を進めていただいたこと、またコロナ禍が一段落したこともあって、このような実績になっているのかなと思いました。

文化・芸術については、世代によって、それに対する想いが違うという気もしますので、難しいことではあるかもしれませんが、世代ごとに求めるニーズを把握できるような手段を講じていただき、ニーズに即した取組を進めていければ、もっと評価は上がっていくと思ったところです。

子どもたちの立場からいうと、達成度評価の中であげていただいている「俳句入門講座」について、小学生の子どもたちも俳句大会に作品も出させていただき、俳句をつくる体験をさせていただいています。こういう機会がないと俳句をつくることはなかなかないですし、草津のまちが俳句に関わる色々な縁のあるということもありますので、是非継続いただきたいと思います。子どもたちが俳句の賞を取った時には、立派な短冊に自分の俳句を書いた物がいただけます。子どもたちが目をキラキラさせながら、「頑張って良かった」と言ってくれます。また、「キッズシネマ塾」についても、参加している子どもたちは映画に興味があって、将来はこうなりたい、こういうことを大人になったらやってみたい、そういう夢を追いながら参加をしていると思います。そういう想いを持った子どもたちは、これからも増えてくると思いますし、その子どもたちが自分を発揮できる場としても、継続いただけるとありがたいです。予算も必要になるため、その確保が大変だとも思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは私の方からも意見を差し上げたいと思います。

今もお話にありましたように、コロナ禍で中止・縮小されていた事業活動が、多くの方々の御尽力によって再開されてきたということを大変喜ばしく思います。予算的には厳しいところもあるかと思いますが、多くの市民が文化芸術に親しむ機会を幅広く提供いただけるよう引き続きお願ひしたいところです。

また、事前に質問をさせていただいた中で、昨年度の外部評価委員会の指摘を踏まえ、新たに幼少期の文化芸術体験や活動への若い世代の取り込みなどに取り組みまれたとのことでした。外部評価委員会での議論が具体的な事業に繋がったということは、昨年度も

委員を務めさせていただいた身としては大変嬉しく思います。引き続き、幅広い世代が参加できる工夫を講じていただければと思います。

最後に、多くの市民の方に参加いただくためには、市の取組や事業活動に関する情報発信が重要になるかと思います。情報発信については、新しいアプリの活用などを含めて、学校でも進めていただいているというお話がございました。文化・芸術の振興におきましても、すでにホームページや SNS 等を通した発信に努めておられるとのことですが、それに加えまして、市民同士の繋がりやネットワークの活用、口コミというのが大変、重要になってくるのかなと思います。そういったことを通しまして、これまであまり参加されることのない世代への働きかけに繋がればと思います。以上です。

それでは、基本項目8について評価を終わります。

続きまして、基本項目9「文化財の保存と活用」について評価を行います。事務局より概要の説明をお願いします。

事務局

基本項目9「文化財の保存と活用」について、御説明させていただきます。報告書34ページを御覧ください。概要について、本市の歴史文化の特徴を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努め、地域主体による保存・活用の機運の向上や歴史文化を活用した草津らしいまちづくりをめざすものです。成果指標を「文化財指定件数」および「史跡草津宿本陣・草津街道交流館の年間入館者数」としております。「成果指標の実績」、「主要事業に対する達成度評価」、それらを総合した基本項目に対する「達成度評価」は記載のとおりです。事務局からの説明は以上です。

渡邊委員長

はい、ありがとうございました。それでは、委員の方より評価・意見をいただきたいと思います。竹本委員お願いいたします。

竹本委員

成果指標の「草津宿本陣・街道交流館の年間入場者数」については、コロナ禍の影響を受けておりますが、令和2年度以降、徐々に回復してきていることがわかります。今後、本陣の改修工事が控えておられ、休館中は街道交流館において本陣資料の紹介展示や

本陣楽座の活用を考えられているということですので、本陣に興味を持った方が改修後に「また来たい」と思っただけの取組を期待しております。

また、もう一つの成果指標である「文化財指定件数」については、平成30年度以降は実績値が横ばいとなっております。新たに指定できる文化財の有無はわかりませんが、指定できる候補があるのであれば、積極的な指定をお願いしたいと思います。

「史跡芦浦観音寺跡整備事業」に関連しまして、計画に基づき整備を行い、将来的には一般公開を予定しているとお聞きしています。これまでは年に数回の公開であり、常時公開してほしいという声もあったのかもしれませんが、年に数回の公開であれば、公開時により大きな注目を集めやすく多くの人に関心を持っていただける、常時公開であれば好きな時期に見学してもらえるなど、それぞれにメリットがあると思います。どちらが良いとは一概には言えませんが、そのようなことも検討していただければ幸いです。

「文化財普及啓発事業」では、サンヤレ踊りがユネスコ無形文化財遺産に登録されたことを記念した啓発や講演会を実施していただいたと聞いております。こうした契機に積極的に啓発活動を行うことは大切だと思いますが、ひと時の盛り上がりで終わってしまうことも多々あると思います。ユネスコ登録時の熱を持続させることは難しいとは思いますが、市民に対して「草津市にはユネスコ無形文化財があるのだ」ということを、これからも継続的に啓発し、根付かせていただきたいと思います。

文化財については、「保存」がメインであり、「活用」は二の次というイメージをこれまで持っていました。情報発信を行うなど「活用」についても積極的に取り組まれていることを、今回委員をさせていただき感じることができました。文化財を次世代に継承していくためにも、引き続き「活用」にも注力していただければと思います。私の方からは以上です。

渡邊委員長

ありがとうございます。続きまして、藤野委員お願いいたします。

藤野委員

私が昨年まで勤めていた地域総合センターの講座の中で、「地元の歴史に関わる色々な話を聞きたい」という声があがり、教育委員会の歴史文化財課の方にお越しいただき、お話を聞かせていただいたことがあります。自分の住んでいるところにどのような歴史があ

り、今に至っているのか知りたいと思っておられる方が、結構たくさんいらっしゃったと思いました。昔からそこに住んでおられる方々は、故郷の歴史にすごく興味があり、専門的な話を聞いてみたいという思いを持っておられます。「聞き伝えで聞いてきたことは本当だったのかを聞いてみたい」という思いを持たれている方も多かったと思います。そのような中で、講座にお越しいただき、お話を聞かせていただいて良かったなと思います。

また学校教育ではありませんが、街道交流館の方で実施されているものだと思いますが、浮世絵をつくる体験を子どもたちにさせていただきました。社会科の教科書にも載っている浮世絵ですが、実際に体験して理解が深まったのではと思います。歴史文化財課や街道交流館の職員の方々は専門的な知識をお持ちで、歴史について話を聞かせてもらいたいと思うことが多々あります。これまで以上に文化財や草津の歴史を発信し興味を持っていただき、街道交流館等に見に行っていただけの方を増やしていく取組を進めていただければと思っています。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは私の方からも意見を申し上げます。

先ほどもお話にございましたように、街道交流館の年間入館者数が、一時期コロナの影響で下がっておりましたが、徐々に回復の兆しがみられるということでした。即座に、コロナ前の数にまでいかないとしても、徐々に観光の方も増えてきているようですので、引き続き、入館者数を増やす取組を継続していただければと思います。コロナ禍においても、積極的な情報発信により、ホームページなどへのアクセス数は増加傾向にあったということでした。現在、街道交流館は通常営業に戻りつつありますが、引き続き情報発信にも力を入れ、両側面合わせて、さらなる事業展開に期待をしております。

また、歴史的に交流のある他市町村などとの連携事業なども検討されているのかどうか。もし進めておられるということであれば、是非、積極的な取組を進めていただきたいと思います。そうすることによって、改めて草津市の歴史や文化の特徴が浮かび上がってくるように思います。

最後に、草津市の教育振興基本計画には「歴史遺産を生かした学校教育」という言葉が使われております。歴史遺産を生かした学校教育へ向けて、特に社会科の先生方に対してということになると

と思いますが、専門家との連携や共同研究の機会を増やすよう市からも働きかけを行っていただきたいと思います。この点は、「スクールE SDくさつ推進事業」や「教職員研修事業」などにも関連してくることです。

こうした事業活動を行っていくためには、遺跡の発掘調査や文化財保存などに関して、十分な予算措置が必要になってくるかと思えますので、こちらに関しましても、引き続き、御尽力いただけるとありがたいと思います。私からは以上です。

以上で基本項目9の評価を終わらせていただきます。

これで9つの基本項目に関しまして、評価を終えたところでございます。最後に、項目全体を通しての御感想・御意見など頂戴できればありがたいです。

藤野委員

今回の委員会に臨むにあたり、資料を前もっていただき、自分なりに考えをまとめて参加させていただきました。的外れな評価・意見もあったとは思いますが、草津市の教育委員会が取り組んできていただいたこと、またこれから取り組もうとしていただいていることは決して間違いじゃないと思います。それらの充実に向けて、日々努力いただいていることには、頭の下がる思いであります。困難な課題が毎日のように起こっていますが、ひとつひとつ丁寧に対応していただきながら、今日を迎えていただいていると思います。私たちが今日お話をさせていただいた中に、一つでも二つでも、取り組んでみようと思えるものがあれば幸いですと思っております。ありがとうございました。

渡邊委員長

ありがとうございました。竹本委員お願いいたします。

竹本委員

今回、委員をさせていただくにあたりまして、教育委員会がこんなに大きな組織だということを改めて感じました。幼少期教育から歴史文化財の保護まで、これを教育委員会という組織で動かしていくのはとても大変なことだと感じました。

各成果指標で実績値が数値として出てはおりますが、大事なことは子どもたちが先生とお話している中での生の声だと思っております。実績値を見てがっかりされる先生方もいらっしゃるかもしれませんが、現場の先生方が子どもたちとの会話の中で感じていることが

渡邊委員長

一番だと思います。保護者として、日々、子どもたちと関わっていただいていることにまずは感謝したいなと思っております。以上です。

ありがとうございました。私からは、昨年度に続いて外部評価委員として参加させていただく機会をいただきましたので、そのような立場から感想を述べさせていただきます。

昨年度、この外部評価委員会の場で、教育委員会の幅広い事業内容について、どのように評価して議論を行っていくかということが一つの課題になりました。今年度はそうした議論を踏まえていただき、特に委員会の進め方や報告書案の取りまとめ方などについて、工夫を行っていただきました。あらかじめ不明な点などについて、各委員から質問をあげて、その質問に対して事務局より丁寧に御回答いただく方式が採用されました。これによって、事業内容の理解が深まるとともに、論点の整理並びに事業活動に対する効率的な検証に繋がったのではないかと考えます。こうした作業の中で、一部に報告書原案の修正なども行われました。このような進め方が適切だったかどうかにつきましても、今一度検証が必要だとは思いますが、業務内容の明確化・効率化に向けた新しい試みとして、個人的には評価されてよいのではないかと考えます。

また、報告書における成果指標の実績値につきまして、根拠データが示されておりますことから、行政として説明責任を果たそうという姿勢が伺えます。たしかに、依拠するデータが限られている点、基本項目と当該データの関連性がやや曖昧な点など、まだまだ課題もあるように思います。この点については、調査方法などの検証も踏まえて、依拠するデータの洗い直しや幅広いデータの収集など、今後の取組に期待したいと思います。他方、データを重視するという姿勢に対しては、慎重さも必要なのではないかと個人的に思っております。数値にあらわれてこない意見に対しても、行政として常に耳を傾けていただくという姿勢が求められるのではないのでしょうか。その点では、例えばアンケート調査でも、自由記述欄を設定するなど、実際の人々の生の声を直接たずねてみるのが重要になってくるように思います。実績値に一喜一憂するのではなく、基本方向が示す方向性や考え方を踏まえて、引き続き真摯に事業活動に取り組んでいただければありがたいと思っております。

以上をもちまして、全基本項目の評価が終わりましたので、教員

教育委員会事務の点検及び評価を終わりたいと思います。

本日の議事はこれですべて終了いたしました。円滑な議事の進行に御協力いただきましてありがとうございました。それでは進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局

渡邊委員長ありがとうございました。

これより草津市教育委員会事務外部評価委員会の閉会に移らせていただきます。閉会にあたりまして、教育部長の増田より御挨拶させていただきます。

増田部長

皆様、本日は長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。この点検評価につきましては、学校教育以外の生涯学習やスポーツ、歴史文化と非常に多岐にわたっており、委員の皆様には大変御苦勞いただいたと改めて感謝を申し上げます。本日いただきました貴重な御意見や評価につきましては、今後の学校教育、あるいは市政全般におきまして活かしてまいりたいと考えておりますので、今後とも御支援の程、よろしくお願いを申し上げます。最後に委員の皆様のご健康等、これからの益々のご活躍を御祈念申し上げます。簡単ではございますが閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

事務局

これをもちまして、令和5年度草津市教育委員会事務外部評価委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

【閉会】 午後4時30分